

投票はテストではない。だから“正解”はない。

みんなが選んでいる人ではなくても、前回と違う人に投票することもできます。
完全に意見の一致する人はほぼいないから、誰が最も自分の考えに近いかを考えてみましょう。

情報の集め方

① 選挙公報

投票日の2日前までに家に届くチラシ。
立候補している人のプロフィールや政策がまとめて載っています。



② 政見放送

立候補者がテレビやラジオで意見を伝える放送。
文字だけでは分からない、その人の雰囲気（ふんいき）がわかります。



③ 街頭演説

駅前などで立候補者が演説をしています。
じっくり話が聞けますし、直接本人に質問することもできます。



④ 立候補者のホームページやSNS

当選したら実現したいことがまとめて書いてあることが多いです。



⑤ ポートマッチ

アンケートに答えると、自分の考えと近い立候補者や
政党を教えてください。



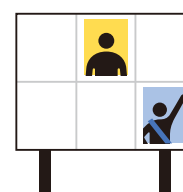
⑥ ニュース、新聞

選挙に関する様々な情報を知ることができます。



⑦ 選挙ポスター

街に選挙ポスターの掲示板が立てられたら、もうすぐ選挙があります。
ポスターのキャッチコピーで特徴や違いがわかるかもしれません。



投票先の決め方の例

① 政策で決める

どんな政策(国やまちづくりの方針)を訴えているか。

あなたにとって、誰かにとって大事だと思う政策はあるでしょうか。



② 政党で決める

どの政党に所属しているか、それとも無所属か。

どの政党があなたの考えに最も近いかで選ぶこともできます。

※政党については「06政党って何?」へ



③ プロフィールで決める

年齢、性別、出身地、仕事、経験をみて、親しみを持てたり、増えて欲しい属性の人に投票してもOK。



④ その他

①～③以外の方法で決めても、時間がなくて調べきれなくても大丈夫です。



よく分かってない人が投票しない方がいい、なんてことはありません。

投票に正解はないし、この社会を作っているのは

「誰か」じゃなくてわたしたち。選挙権がある人は、

あなたの「こうなったらいいな」を

投票で意思表示してみませんか。

